



東谷児童・園児が地域の皆さんと稲刈り

9月12日、東谷小学校の児童と東谷幼稚園児が毎年恒例の稲刈りを行い、地域の皆さんと共に汗を流しました。高学年にとっては幼少期から行われている行事で、慣れた手つきで鎌を使い、地元で育った稲を刈り取っていました。

今回収穫したお米や、わらを使って、10月にはお餅つき、12月にはしめ縄作りを行う予定で、地域住民と子どもたちが交流を深めていくそうです。

坊っちゃん劇場役者を講師に 拝志小学校で表現方法の授業

拝志小学校で行われた表現の学習授業に児童の皆さんが参加し、講師から表現方法の基礎を学びました。

今年で5年目となる本授業の講師を務めたのは、坊っちゃん劇場アウトリーチ事業部の斎藤かおるさん。授業では「周りを想いやって動きに気をつけること」「苦しい時に笑顔をつくる方法」「緊張しない方法」を子どもたちに伝えました。参加した児童は、次回発表会で授業の成果を披露するそうです。



東温高校で体育祭開催 3年生が最後の体育祭を楽しむ

9月6日、東温高校で体育祭が行われ、全校生徒が4団体に分かれてさまざまな競技で競い合いました。女子生徒が参加する「タイヤ奪い」は、並べられたタイヤを早く奪って自陣まで運ぶ種目。軍手を着けた生徒たちは必死になってタイヤを引っ張り合い、高得点を狙いました。また、ひかり認定こども園の園児たちとダンスを踊る競技もあり会場は盛り上がりました。今年の総合優勝は青雲グループの皆さんでした。



10年後の東温市をより良く 中学生子どもミーティング

小学生子どもミーティングと同日、中学生子どもミーティングも行われ、交通・防災分野や福祉・医療分野から意見が出されました。

参加した中学生20人は、独自で東温市の現状を調べ、パネルを使った意見発表など創意工夫が見られました。池川教育長は「さすがが中学生と言える視点ばかりの発表。まちの事を自分の事として考えることができる人材が育ってきていると感じる」と講評しました。

僕たちの目から見たまちづくり 小学生子どもミーティング開催

夏休みの8月27日、市役所議場に小学生17人が集まり、市長や市職員と市のまちづくりについて意見交換を行いました。「公園をもっと使いやすい場所にしたい」といった身近な話題から、高齢者の交通事故の防止など地域課題に目を向けた意見が出されました。「空き家が増えている。将来建築士になって、リノベーションして魅力的な場所にしたい」との意見があり、子どもたちはまちの将来と自分の夢を考えていました。



実りの秋到来! どてかぼちゃカーニバルに2,000人が来場

毎年恒例のどてかぼちゃコンテスト・カーニバル(主催:東温市青年農業者協議会)が開催され、巨大かぼちゃが今年の出来栄を競いました。今年で35回を迎える同大会には、近年で最も多い514点のかぼちゃが出品され、色合いや形、ユーモア性などで審査が行われました。今年の最優秀賞は田内美智子さんが選ばれ、会場は、かぼちゃの重量当てやハロウィンかぼちゃのカービング体験などで賑わいました。



感謝してお米を食べよう 南吉井小稲刈り体験

9月19日、南吉井小学校5年生が牛淵地区の田んぼで稲刈り体験を行い、秋晴れの下で汗を流しました。今年の6月に田植えをして豊作となった稲を、鎌を使った昔ながらの方法で収穫しました。児童を代表して5年桜組の森芽依香さんが、「田植え、稲刈りと体験してみて、農家さんの大変さが分かりました。これからはお米を大切に食べようと思います」とご協力いただいた地元住民の方に感謝の言葉を述べました。

100歳のご長寿をお祝い 平野知代香さんに賞状

今年で100歳を迎える方を表彰するため、田窪地区の平野知代香さんをはじめ7人の方に賞状をお渡ししました。平野さんは水墨画を趣味にしていたそうで、最近では、ご自身で散歩に出かけるなど元気に過ごしているそうです。内閣総理大臣、県知事、市長からの3枚の賞状を手にした平野さんは、「ありがとうございます」と満面の笑みを浮かべていました。今年度、東温市では24の方が100歳以上を迎えます。



横河原で防災訓練開催 区民150人が有事に備える

9月15日に横河原公民館で、横河原区自主防災会の主催による防災訓練が行われ、区民約150人が参加しました。訓練では、避難所開設の方法や消火器の使い方などが伝えられ、最後には飯ごう炊飯を使った炊き出し訓練が行われました。

横河原地区の伊藤区長は「役員の皆さんが声をかけてくれて、子どもたちも多く参加してくれた。これからは地域の繋がりを大事にしていきたい」と話しました。



命を救うための技 競う 消防救助技術大会で3人入賞

8月25日、岡山市で第48回全国消防救助技術大会が行われ、四国地区で選抜された東温市消防職員3人が水上の部(人命救助)で入賞しました。この種目は3人1組で行われ、20m先の要救助者を抱えたあと、ロープで手繰り寄せ、水面に引き上げるまでの時間や安全確保面を競い合うものです。

入賞した大野史仁消防隊員は、「この経験を今後の業務に活かしていきたい」と抱負を語りました。

いのとんエプロンでPRを 松山刑務所で製作

松山刑務所(見奈良)が地域活性化を目的に、イメージキャラクターいのとんがプリントされたエプロンを製作しました。中沢松山刑務所長は、8月21日に加藤市長へエプロンを渡し、「四国矯正展や各地の即売会などで販売して、東温市のPRに努めたい」と話しました。

矯正展は例年11月中旬に開催されるイベントで、刑務所作業製品の即売会やフードコーナー、ちびっこ広場などで賑わいます。



観月祭開催 雨の中でも熱気あふれる

8月24日、毎年恒例の観月祭が行われ、会場となった重信川河川敷は熱気に包まれました。当日はあいにくの天候でしたが、商工会をはじめ地元事業者の出店ブースが賑わい、見所の花火も打ち上がりました。

浴衣を着て、夏の終わりを楽しむ皆さんの姿があり、SNS(写真共有サービス)に、撮影した花火の写真を掲載する参加者もみられました。

開催にご尽力いただいた皆さん、ありがとうございました。